

官民学協働によるSDGsの普及啓発活動と 災害文化の発信に向けた 取り組みについての報告書 及び政策提言

公益社団法人仙台青年会議所
しあわせな仙台（まち）創造委員会

背景 SDGsの認知と持続可能な社会に向けた行動が広がる中、SDGs達成に向けた行動を起こす能動的な市民によるSDGsの推進がより一層求められています。私たちは持続可能な仙台(まち)の実現に向けて地域を牽引するリーダーとして、多様なネットワークのもと、市民協働による仙台発のSDGs推進モデルの確立が必要と考え、本事業を実施しました。

目的

- ・市民がSDGsの達成に向けて自ら行動する意識を高める。
- ・多様な主体と共にSDGs推進モデルを確立する。
- ・市民協働によるSDGs推進モデルを国内外に普及する。

概要

事業名 : SENDAI SDGsWeek 2024

主催 : 公益社団法人 仙台青年会議所

共催 : 仙台市、仙台サステイナブルプロジェクト

協力団体 : 一般社団法人定禅寺通エリアマネジメント
株式会社ユーメディア
学生団体AIR FIELD
株式会社ゼネラリクス

開催期間 : 2024年09月22日(日)～09月28日(土)

会場 : 定禅寺通りグリーンベルト、西公園

来場者数 : 10,049人

意義後援 : 宮城県庁／仙台商工会議所／公益財団法人仙台観光国際協会
東北電力株式会社 宮城支店／株式会社七十七銀行 / 杜の都信用金庫
株式会社河北新報社／東北放送株式会社／株式会社仙台放送
株式会社宮城テレビ放送／株式会社東日本放送／株式会社エフエム仙台
株式会社シティエフエム／株式会社プレスアート／株式会社仙台リビング新聞社
株式会社読売新聞東京本社東北総局／株式会社朝日新聞社／株式会社毎日新聞社
株式会社日本経済新聞社仙台支局／仙台CATV株式会社／一般社団法人SDGsとうほく
東北大学大学院経済学研究科SDGsラボ／一般社団法人食のみやぎ応援団／みやぎSDGsFarm

同期間内連携イベント

※開催期間中の、同会場及び近隣にて開催のイベントと連携し、エリア一帯でSDGsに関する取り組みを推進いたしました。

- ・2024年09月22日(日)
ハイウェイフェスタ
主催：はいうえい人街ネット地域連絡会（NEXCO東日本東北支社ほか）
- ・2024年09月27日(金)～9月28日(土)
立町たちのみ
主催：Soonたちまち
- ・2024年09月28日(土)
シニアいきいきまつり
（主催：仙台市高齢者生きがい健康祭り実行委員会・仙台市公益財団法人仙台市健康福祉事業団）

概要

SENDAI SDGsWeek 2024 概要



メインビジュアル

- 【事業名】 SENDAI SDGsWeek 2024
- 【テーマ】 Smile～未来の笑顔のためにできること～
- 【主催】 公益社団法人 仙台青年会議所
- 【共催】 仙台市、仙台サステイナブルプロジェクト
- 【期間】 2024年9月22日(日)～9月28日(土) 7日間
- 【場所】 勾当台公園、定禅寺通り緑道、西公園(こけし塔)周辺
- 【連携団体】 一般社団法人定禅寺エリアマネジメント
株式会社ユーメディア
学生団体 AIR FIELD
株式会社セネラクス
株式会社セネラクス
ハイウェイフェスタ2024
シニアいきいきまつり
立町たちのみ



【コンセプト】

私たち青年には、これからの社会がどうあるべきかを考え、未来を創っていく責任があります。2030年のSDGs達成に向けて世界的にも進捗が遅れている中、SDGs未来都市である仙台に住み暮らす私たちも行動を起こさなければなりません。

そこで、仙台まちを明るく照らし続ける笑顔溢れる市民の皆様と共に、仙台まちの未来を考え、愛する仙台まちのために、多様化する地域課題の解決ができる場としてSENDAI SDGsWeek 2024を開催いたします。SDGsを知ってもらうために市民の皆様と未来に向けて考えた1年目、SDGsの達成に向けてもう一歩前へ踏み出した2年目、3年目となる本年は「Smile～未来の笑顔のためにできること～」をテーマとし、地域の課題解決のみならず、世界の課題解決の先にあるSDGsの達成に向けた取り組みを推進できる、笑顔溢れるフィールドを創出いたします。

そして、市民の皆様と共に作り上げるSENDAI SDGsWeek 2024を国内外に発信し、世界に模範とされる仙台発のSDGs推進モデルを確立することで、未来の笑顔のためのアクションを拡げます。

<ファンクション>

1日目 22日(日) 10:30～11:00
オープニングセレモニー

1日目 22日(日) 11:30～16:00
ジャッキーと学ぼうSDGs

2日目 23日(月・祝) 10:30～11:30
地球のしあわせ、私たちのしあわせ ～私の行動が未来の笑顔をつくる～

2日目 23日(月・祝) 11:45～12:45
学生が語るまちの姿

2日目 23日(月・祝) 13:00～16:00
フォレナビと花種体験

7日目 28日(土) 10:30～11:30
生きがいのある高齢社会の実現

7日目 28日(土) 13:00～14:00
定禅寺通で考えるカーボンニュートラル

7日目 28日(土) 14:30～15:50
クロージングフォーラム

期間内実施

- ・スマイルツリー
- ・「備えない防災」メッセージルー
- ・子どもの明るい未来に向けた事業国際交流の成果発表
- ・他イベントとの連携



ブース

▼ブースイメージ

※写真は、2021年定禅寺通り緑道市民体験社会実験のイメージです。



仙台初！【回遊性向上施策】 パーティーバイク運行



エリアの回遊性を高める社会実験として、仙台初のパーティーバイクが運行します。パーティーバイクに乗りながら、まちの風景を楽しんだり、ごはんを食べたりして、リラックスしてみませんか？

※パーティーバイクは電動アシスト付きの6人乗り「自転車」です。
※お客様がペダルをこがないと動きません。ブレーキを完走するためには皆さんの協力が必要です。力を合わせてパーティーバイクを走らせよう！【運行予定】
2024年09月22日(日)・09月23日(月祝) 11:20 12:20 13:20 14:20 15:20 16:20 17:20 ※各時間別の定員は6名です。

ラジオブースでの情報発信

企業ブースを出展したい企業様には、ラジオ放送によるPRをオプションとして提供させていただきます。
パーソナリティとの対話形式とし、より市民に情報が伝わるような内容も発信します。

※写真は、2023年仙台市定禅寺通り緑道市民体験社会実験のイメージです。



ケヤキの固定栓を使用した オリジナルタンブラーの提供

定禅寺通りサークルアッププロジェクト、仙台市、アサヒユウアスと共同開発している定禅寺通りのケヤキの固定栓とブラを配合したオリジナルタンブラーを提供。当日は別途販売中の「ケヤキビール」で飲料していただけます。(※販売場所は調整中です。)

▼タンブラーイメージ



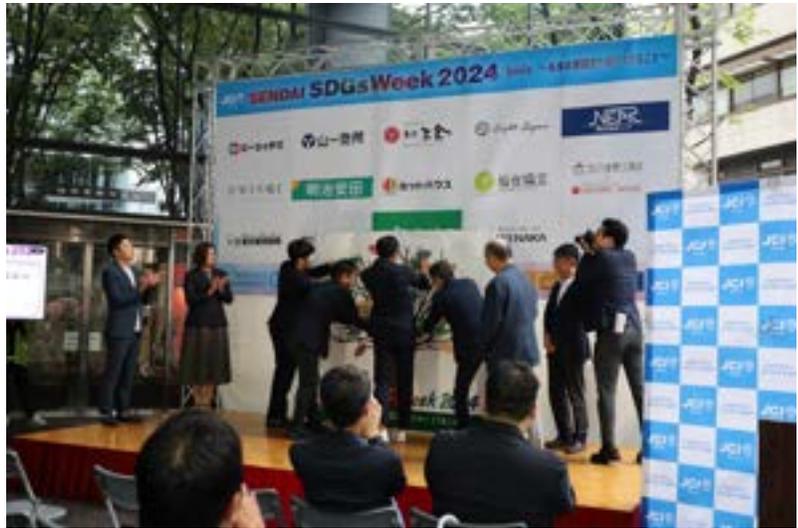
※写真はアサヒユウアス様の「森のタンブラー」です。実際のものとは異なります。

開催プログラム

【オープニングセレモニー】

開催1日目に、主催である当団体代表と共催である仙台市市長よりご挨拶をいただくとともに、協力団体及び連携イベント事業者の皆様と開催のセレモニーを実施しました。
開催期間中に訪れた市民皆様にもご参加いただける「スマイルツリー」にもSDGsの達成に向けた想いを掲載いただきました。

事前に地元メディアである河北新報社へも相談し、開催当日の様子を取り上げていただくことができました。



開催プログラム

【ブース出展】

7日間で延べ89の企業及び団体がSDGsの普及啓発、推進に関するブース出展を行いました。



開催プログラム

【ラジオブース】

「ラジオ3（FM76.2）」さんと、定禅寺通りに面する「イノベーションプラットフォームIDOBA」さんご協力により、ファンクションの一部と出展団体の一部の方にラジオにてPR放送しました。会場以外でも取り組みの発信をすることで、より多くの市民に伝わる仕組みとなりました。収録された内容は2024年10月4日と10月11日に放送されました。



連携イベント

【ハイウェイフェスタ】

9月22日は、勾当台公園で開催されたハイウェイフェスタとうほく2024と連携させていただきました。当日は大雨に見舞われましたが、早期の段階から連携のお打ち合わせを重ねたこと、SDGsへの取り組みを日常より推進されていることから古着の杜の企画もしていただき、定禅寺エリア一体としてSDGsへの取り組みに参加できるきっかけとなりました。



連携イベント

【立町たちのみ】

9月27日、28日は定禅寺通りにて開催された立町たちのみさんと連携いたしました。立町たちのみさんでは普段の催しでも分別したゴミ回収を実践しているためSDGsとの関連性が高くSENDAI SDGsWeek 2024と同期間かつ同会場での開催であったこともあり、のぼりの設置もこちらよく受け入れてくださいました。また本年は、例年の猛暑を鑑みて涼しくなる夜間帯の催しの可能性検証を兼ねていました。本年は、例年のような猛暑とはならず比較的涼しい昼間帯であったため本来の検証はとれませんが、立町たちのみさんの様子を見ると、昼間の時間帯と違い、椅子、テーブルを多めに設置することで滞留させかつ集客に繋がれることが分かります。



連携イベント

【シニアいきいきまつり】

9月28日は、勾当台公園にて開催された「シニアいきいきまつり」にてSENDAI SDGsWeek 2024ののぼりを設置いただくとともに、パンフレットにも連携している旨を掲載いただきました。シニアいきいきまつりでは多くの市民団体によるステージショーや出展があり天候にも恵まれ多くの方のご来場がありました。



連携イベント

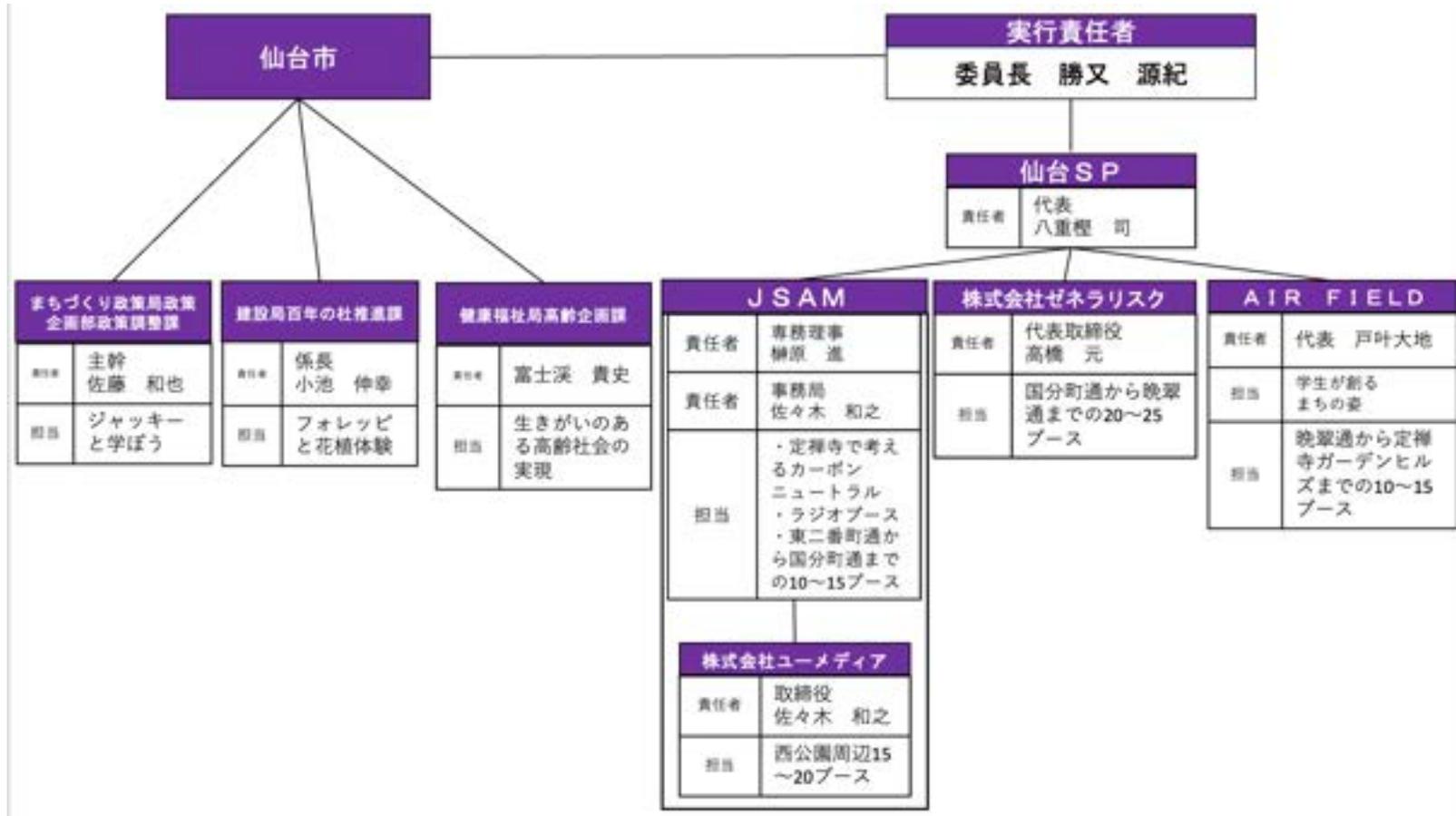
【オクトーバーフェスト】

9月22日23日は、錦町公園で開催されている「仙台オクトーバーフェスト」様と連携し、西公園にサテライト会場を設けることで、都市の回遊性を高める仕組みを作りました。当日は大雨に見舞われ思うような集客に繋げることができませんでしたが、仙台の都心にある公園を定禅寺通りで繋げ、同じくSDGsを掲げる催しとして連携をする契機となったと考えます。



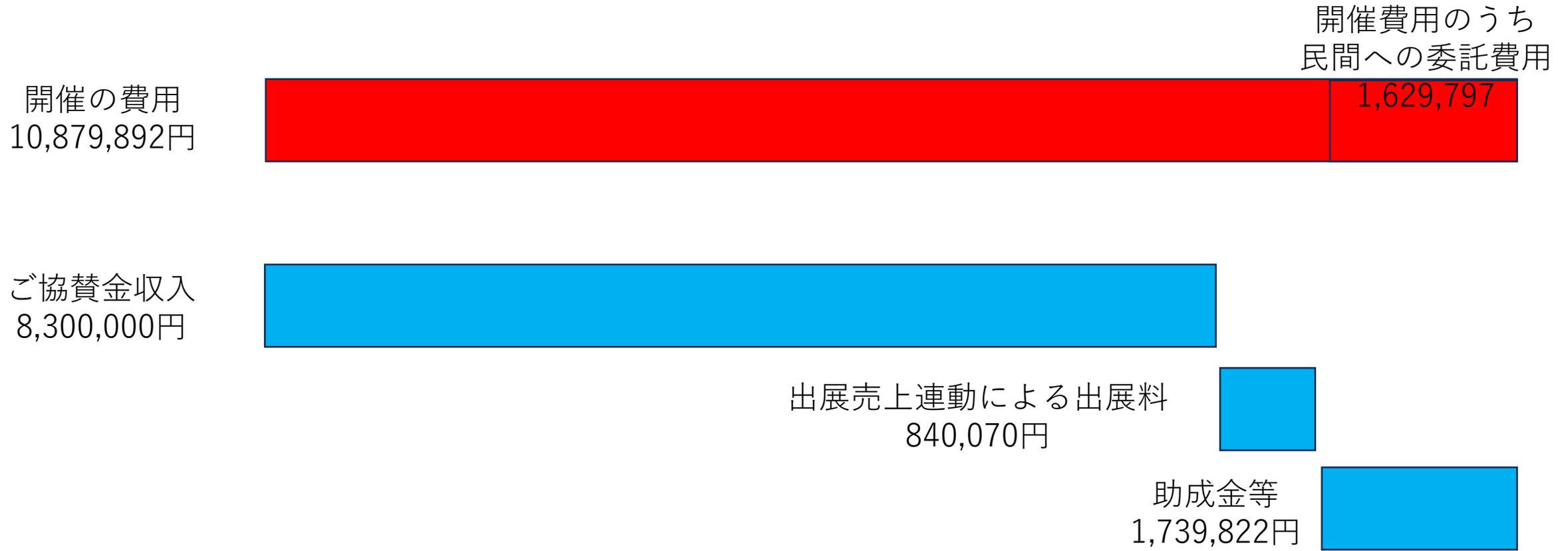
継続的取り組みに向けた座組

仙台青年会議所では、これまで多くの事業に取り組んできましたが、人口減少とともに会員数も減少傾向にあります。会員数の減少は年間の予算の減額と人員の不足による事業規模の縮小にも繋がります。そのため、同じく仙台（まち）の未来を想う他団体と連携することで、事業規模の拡大による市民への波及効果と、事業継続性に必要な収益性を担保することとしました。



資金等収支について

開催資金の多くは協賛金による捻出となりますが、約10%は開催期間中の民間企業や市民の出展による売り上げにより賄っております。仙台青年会議所は公益社団法人であり収益をあげることができないため、主催として集めた協賛金及び出展による売り上げの一部を、運営委託費として民間団体にお支払いすることで、民間にとっても経済的メリットを感じられるような資金の流れを検討いたしましたが、天候不順の影響もあり、出展売上連動による出展料が当初予想（約470万円）の2割を切る形となってしまいました。当初予想の半分程度売り上げがあれば助成金等のサポートが無くとも開催が可能であり、当初予想通りであれば、協賛金は半分程度で開催が可能となります。持続可能な活動としていくためには、共感による参画者と来場者双方を増やしていくことは必然ですが、そのためには活動を継続していくことが必要と考えます。



協賛ツールについて

協賛ツールとしてのぼりや、街灯フラッグ等9種類用意し、合計126の企業、団体、個人の方にご協賛いただきました。



メッセージリレー動画による災害文化の発信について

防災環境都市の仙台市では、「災害文化」の発信についての取り組みをしています。仙台青年会議所としても「災害文化」を拡めることにより仙台市民の有事の際の二次災害を減らすべく、日常から防災意識を自然と持つことができるよう「備えない防災」を提唱し、市民の皆様と共に、リレー形式で動画を撮影し、SNSにて国内外に発信しました。



協力団体による所感

【一般社団法人定禅寺通エリアマネジメント】

- ・定禅寺通エリアは、都心にありながら緑豊かな杜の都のシンボルエリアである。今回、コラボさせてもらった「JOZENJI STREET Zero-carbon Challenge」や「定禅寺通サーキュラープロジェクト」もふくめ、ケヤキ並木を活かした活動を通して、定禅寺通エリアのブランド価値を高める取り組みを行っている。
- ・定禅寺通のエリアブランディングの観点からも、SENDAI SDGsWeekは親和性が高く、市民や企業への訴求力はあると考えるが、企業協賛の営業はもちろん、市民への情報発信の時期が遅く、十分に浸透していなかったと感じる。
- ・今回ファンクションで取り組みを発信できたことは意義があったと考える。今後はエリアだけでなく、たくさんの企業の参画など、仙台都心のみならず、取り組みを大きくしていくきっかけとなると良いと思う。

【株式会社ゼネラルクス】

- ・脱炭素先行地域の仙台の象徴的エリアである定禅寺通りで開催出来たことは、杜の都の象徴的イメージとともに環境配慮の姿勢を感じることができた
- ・オクトーバーフェスとの同時開催ということで顧客の回遊が実現できた
- ・出展者は様々な切り口のSDGs絡みのサービスを展開していた
- ・来年も是非開催して頂きたいが、集客、天候に課題が残った

【立町たちのみ部】

- ・夜間の時間帯をメインにイベントを実施しているため、今後も同じ時期に開催ができるのであれば相乗効果は見込めると思う
- ・SDGsの取り組みとしては、事業用ゴミ袋も費用がかかるため回収に関してはゴミ箱を設置せず回収ポイントを作りコップやトレイなどを重ねて嵩張らないような収集方法を実施しているが、その他にも取り組むことでメリットがあれば実施したいと考えている。
- ・連携についてはそこまでの実感はないが早期に打ち合わせを重ねていけば他にもできることがあったように思う。

【株式会社ユーメディア】

- ・定禅寺通エリアの雰囲気とマッチした内容で、市民への訴求力が高まったと感じた
- ・特に環境保全への取り組みについては、西公園での具体的なアクションもあり、継続していくことにより影響力も高まる。
- ・企業協賛についても、継続することで参入しやすくなるので、早期の計画とリリースが可能になると良い。
- ・イベントとして動機づけのきっかけをつくと共に、例えばラジオ番組などつなげていく継続的な仕組みも必要と感じた。
- ・広報が不足（量とタイミング）しており、せっかくの一体的な取り組みを市民に伝えることが出来なかった。反対に市民にしっかりと浸透していけば社会課題解決型のイベントとして重要度が増すと考える。

【AIR FIELD】

- ・出展者さんや運営の方とのつながりができたことがよかったです。
- ・天候にも左右されてしまうので一概には言えませんが、集客については課題があるのかなと思いました。
- ・世代でいうと子供たちがもう少し来てくれたら親御さんもきていい雰囲気になれた気がします。
- ・SDGsのイベントが仙台の中心部で一週間も開催されることの意義はあると思うので、来年以降も開催し続ければ仙台の大きなイベントとして定着していけるのではないかなと思いました。

【仙台市 政策調整課】

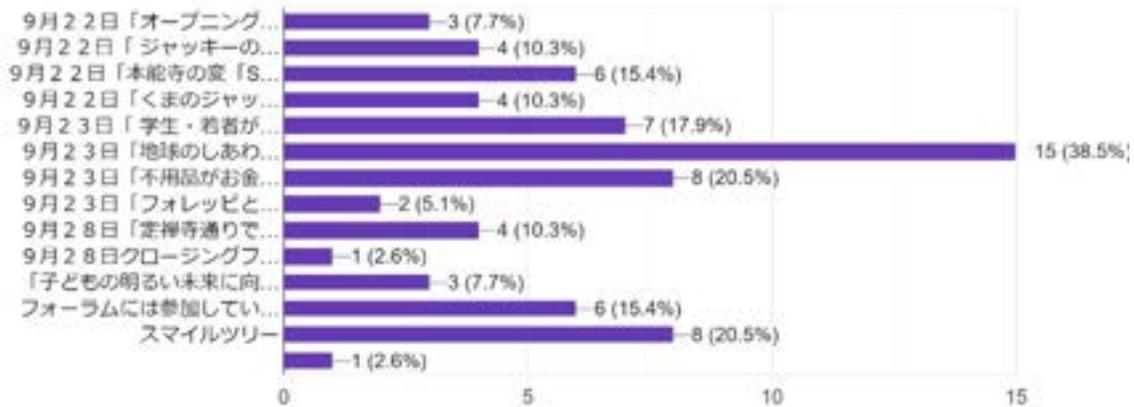
- ・官民連携で様々な活動に取り組んでいる定禅寺通をフィールドとして行ったことは、様々な団体が連携している姿が見せられて良かったと思う。
- ・雨天時の対応を考えるとメイン会場は屋根付きの場所が望ましいと思います。（集客の観点でも）
- ・HPの更新が後手後手になっていた点は庁内他課からも指摘（イベント内容の掲載がなかなかされず、本当に実施するのか？と問い合わせが各課から入った）があったので、次年度以降配慮いただきたい。
- ・担当レベルでの細かいオペレーションは最後まで動くのはしょうがないと考えますが、動画撮影など幹部が関わるものの日程確保や事前調整は早め早めにしていただけるとお互いにバタバタせずよろしいかと思います。
- ・マンパワー不足に起因している部分もあるかと思いますが、必要に応じて体制を見直すことも検討いただいたほうが良いかと思います。

今後の開催に向けた課題等

全体を通じた検証結果（一般参加者アンケート）

【設問 1】 参加したフォーラムは何ですか

39件の回答

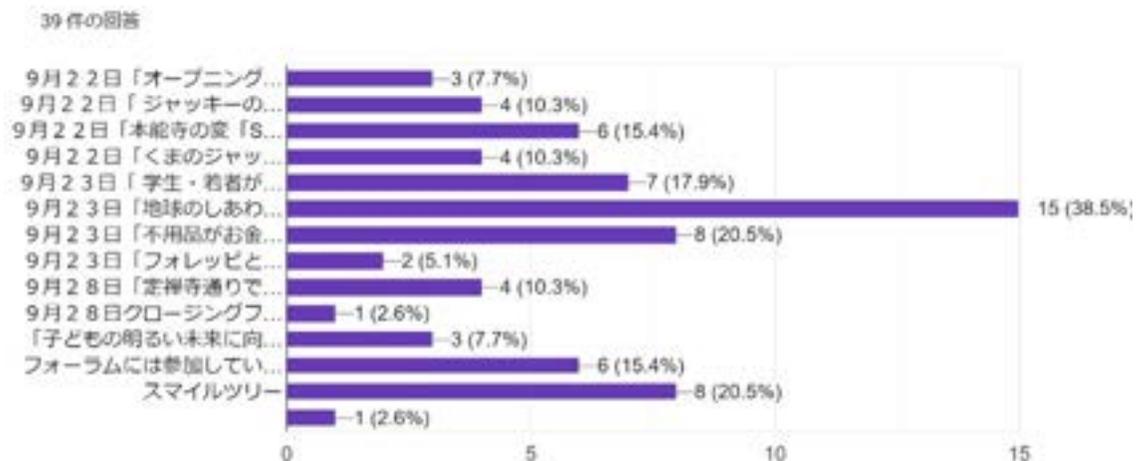


<検証>

9月23日「地球のしあわせ、私たちのしあわせ～私の行動が未来の笑顔をつくる～」への参加が38.5%、同日「不用品がお金に変わる？リデュースリユース リサイクル」（宇田川真実さん）への参加が20.5%とゲストを呼んだ効果が見られる結果となりました。他フォーラムは10～20%の参加率となり、初日は悪天候で参加人数が少なくなってしまう結果となりました。

全体を通じた検証結果（一般参加者アンケート）

【設問2】上記の参加したフォーラムで楽しかった、または学びなどに繋がったものを教えてください。



<検証>

フォーラムに参加した方の80.7%が参加したフォーラムで楽しかった、または学びなどに繋がったと回答しており、各フォーラムの内容が一般参加者に対して適切であったと考えます。

全体を通じた検証結果（一般参加者アンケート）

【設問3】SDGsWeekに参加する以前のSDGsに関する認識を教えてください。

<検証>

身近にできるSDGsに取り組んでいたという回答が43.6%に対して、取り組んでいない方が56.7%と半数以上の方が認知を含め、自分事として認識していないという結果となりました。

全体を通じた検証結果（一般参加者アンケート）

【設問4】SDGsWeekに参加した後のSDGsに対する認識を教えてください。

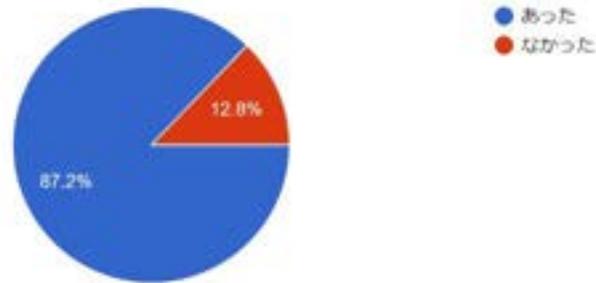
<検証>

SDGsに取り組む必要はないと思うという回答が0%となり、取り組もうと思う、周りの人にも伝え、多くの人が実践するよう働きかけたいという回答が92.3%という結果となりました。【設問3】では半数以上の方が認知を含め、自分事として認識していないという結果でしたが、SDGsWeekを通して多くの方にSDGsの達成に向けて自ら行動する意識を高めたと考えます。

全体を通じた検証結果（一般参加者アンケート）

【設問5】SDGs Weekに参加して、身近なところからSDGsを実践していくヒントはありましたか。

39件の回答



あったと回答した方⇒ご自身で身近にできると思った取り組みは何ですか。

なかったと回答した方⇒どのような取り組みがあれば良かったですか。

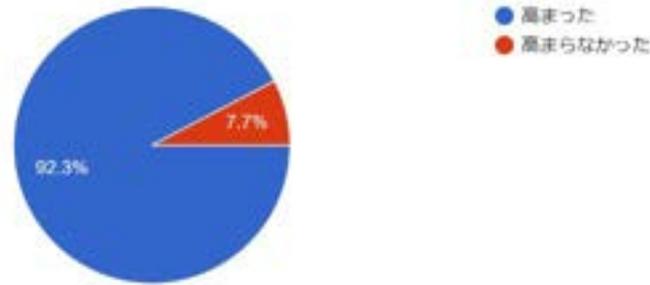
<検証>

「あった」の回答が87.2%となり、「ゴミの分別」や「食べ物を残さない」など具体的な取り組みの回答も頂戴しました。また、自分自身の取り組みとは別な取り組みを行っている方がいたので参考になったという回答から、すでに取り組んでいる人にも別視点のヒントを提供できたと考えます。

全体を通じた検証結果（一般参加者アンケート）

【設問6】皆様の取り組みが持続可能なまちの実現に繋がると考えていますが、そのような意味で、自分も行動してみようという意識は高まりましたか。

39件の回答



【設問7】上記で高まったとお答えいただいた方に質問です。自分に取り組めるSDGsはどのようなことですか（自由記載）

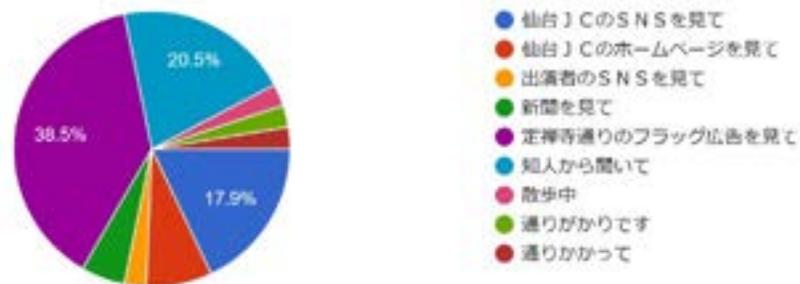
<検証>

「高まった」の回答が87.2%となり、【設問6】の具体的な取り組みだけではなく、「自分の性自認を隠さず、自分らしく生きること」や「関心をもって、取り組むこと」など精神的な変化をもたらすきっかけも提供できたと考えます。

全体を通じた検証結果（一般参加者アンケート）

【設問8】SDGs Weekの開催を何で知りましたか。

39件の回答



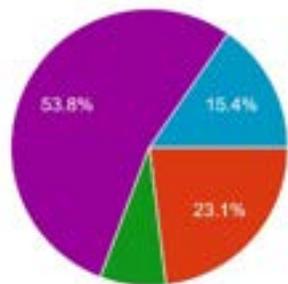
<検証>

「定禅寺通りのフラッグ広告を見て」が38.5%と一番多くの方にアプローチができており、「SNS」や「ホームページ」などの広報ツールが合わせて28.2%となりました。広告として街灯フラッグは継続していく内容として来年も検討できる結果ではありますが、広告協賛にかかる事業予算としてはおおきな費用となりますので慎重な検討が必要です。一般の方にさらに認知を広めていくためにも「SNS」等は発信の工夫が必要があると考えます。

全体を通じた検証結果（参加企業団体アンケート）

【設問 1】SDGs Weekに参加する以前のSDGsに関する認識を教えてください。

13件の回答



- SDGsという言葉を知らなかった。
- SDGsが持続可能な開発目標であることは知っていたが、具体的な内容は知...
- SDGsの意味や具体的な内容は知っていたが、自分には無関係だと思っていた。
- SDGsの意味や具体的な内容を知っており、自分でも取り組む必要があると思...
- 身近にできるSDGsを少しでも取り組んでいた。
- SDGsの取り組みを実践しており、...

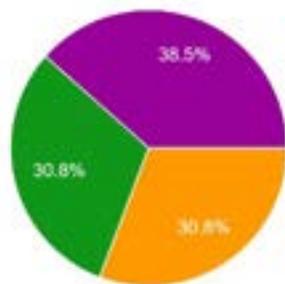
<検証>

「身近にできるSDGsを少しでも取り組んでいた。」という回答が53.8%と半分を占めているが、「SDGsが持続可能な開発目標であることは知っていたが、具体的な内容は知らなかった。」は23.1%とSDGsの認知は広まっているが、取り組みとして行っていると感じている方もおり、取り組みを行っているという認識をもってもらう必要があります。

全体を通じた検証結果（参加企業団体アンケート）

【設問2】SDGsに参加した後のSDGsに対する認識を教えてください。

13件の回答



- SDGsに取り組む必要はないと思う。
- SDGsに取り組む必要があると思ったが、自分で取り組む必要があるとは思わない。
- SDGsに取り組んでいなかったが、身近にできることからすぐに取り組もう...
- SDGsに取り組んでいて、これからも取り組もうと思う。
- SDGsに取り組んでいて、周りの人にも伝え、多くの人実践するように動...

上記で選択した回答の理由を教えてください。

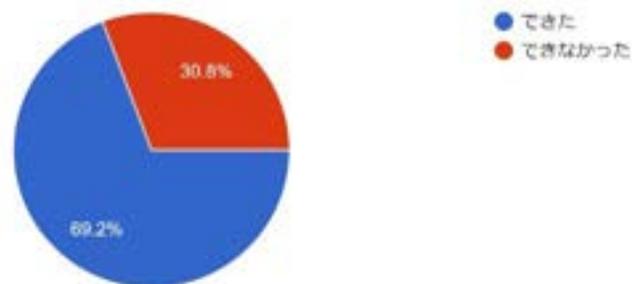
<検証>

SDGsに取り組む、実践している方が69.3%、取り組もうと思った方が30.8%とSDGsに対しての認識が当事者意識を持っていただくことができました。また、「環境維持、改善を意識したい為」と具体的なターゲットや「イベントに参加して、SDGsは身近なことから始められるのだと気づいた」とイベントを通してSDGsに対する意識変化の場を提供できました。

全体を通じた検証結果（参加企業団体アンケート）

【設問3】SDGsに参加して、身近なところからSDGsを実践していくヒント等を学ぶことができましたか。

13件の回答



上記で選択した回答の理由を教えてください。

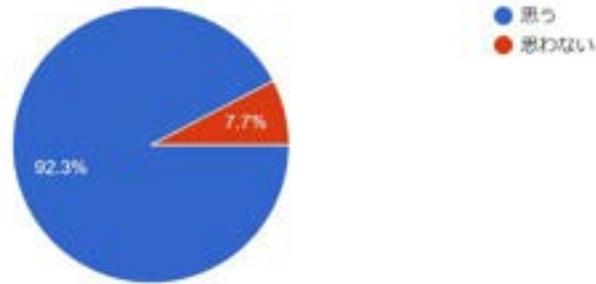
<検証>

「身近にできるSDGsを少しでも取り組んでいた。」という回答が53.8%と半分を占めているが、「SDGsが持続可能な開発目標であることは知っていたが、具体的な内容は知らなかった。」は23.1%とSDGsの認知は広まっているが、取り組みとして行っていると感じている方もおり、取り組みを行っているという認識をもってもらう必要があります。

全体を通じた検証結果（参加企業団体アンケート）

【設問 4】SDGsの推進は仙台が持続的に発展するために必要な取組であると思いますか。

13件の回答



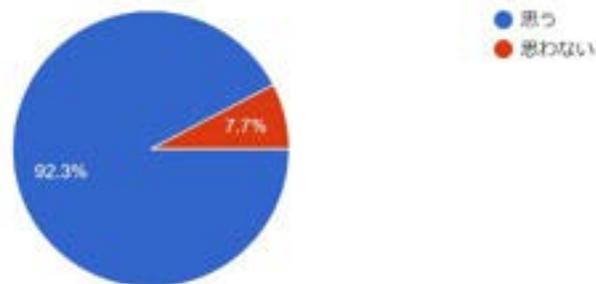
<検証>

【思う】の回答が、92.3%と回答していただき、改めて仙台のためにSDGsの推進は必要であると認識していただきました。

全体を通じた検証結果（参加企業団体アンケート）

【設問 5】 仙台が持続的に発展するために当事者意識を持って取り組んでいきたいと思いませんか。

13 件の回答



上記で選択した回答の理由を教えてください。

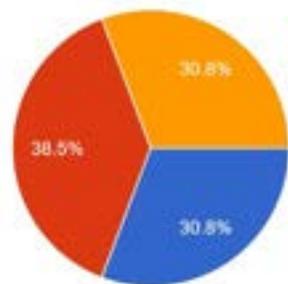
<検証>

【思う】の回答が、92.3%と「仙台に住んでいるなら仙台のために」や「当事者意識を一人一人が持つことによって、仙台が良くなっていきます。」という回答をいただき、当事者意識を持って取り組む方の意識を向上しつつ、当事者意識を持って取り組む方を増やすことができました。

全体を通じた検証結果（参加企業団体アンケート）

【設問6】SDGs Weekを通して自分が所属する企業や団体以外の関係者とどのような連携が出来たと感じますか。

13件の回答



- 企業や団体の垣根を超えて連携が出来たと思う
- 協力はできたが、連携するまでには至らなかった
- 連携する機会は無かった

選択した回答の理由を教えてください。また、連携を拓げるためにはどのような取り組みが必要かお気づきの点をお聞かせください。

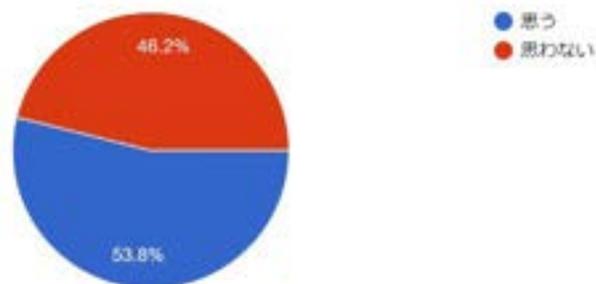
<検証>

連携できた、協力はできたが連携はできなかった、連携する機会は無かった、それぞれ30%ほどに落ち着いており、連携に関しては約60%ができていなかったという結果でした。各団体や企業がもっと連携できる内容が足りていなかったです。各団体や企業が連携できたと思えるような交流できる場の提供や打ち合わせの場を提供することが重要でした。

全体を通じた検証結果（参加企業団体アンケート）

【設問 7】 来年もSDGsWeekに参加したいと思いませんか。

13 件の回答



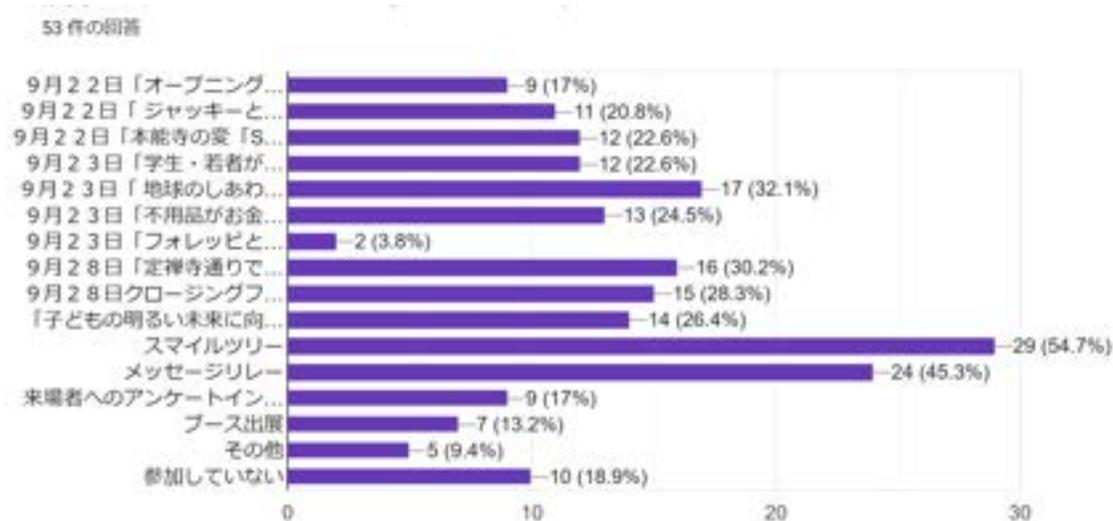
思わない理由を教えてください。

<検証>

【思う】が53.8%、【思わない】が46.2%とそれぞれ半分ほどになっており、思わないという方の回答に「集客が少ない」という回答が多かったことから、雨天もありましたがイベントの周知が足りなかったです。メディアやWEBを使って多くの方に届けるためには会場に足を運んでいただける興味を惹くものが必要です。

全体を通じた検証結果（仙台JCメンバーアンケート）

【設問1】参加したプログラムを教えてください。（複数回答可）



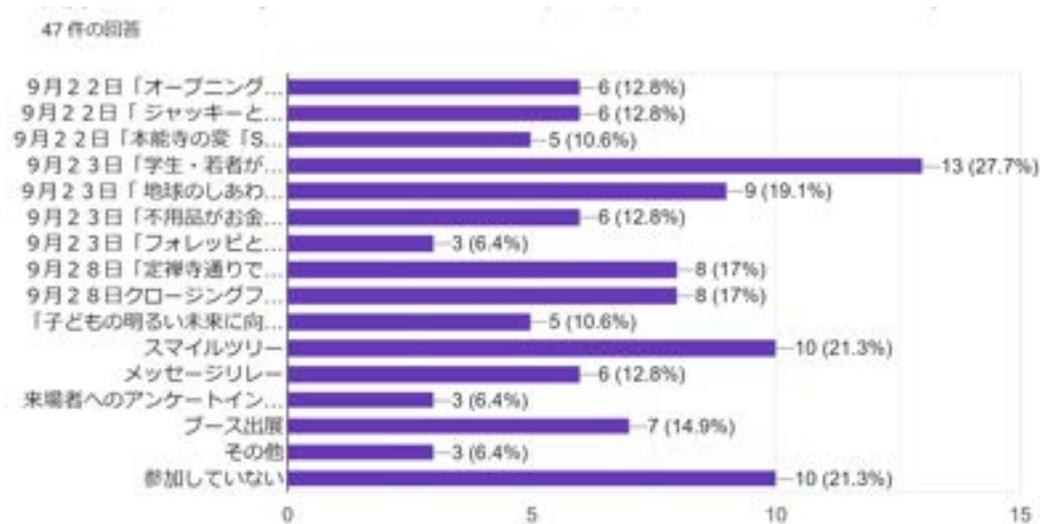
9月22日「オープニングセレモニー」	9名	17%
9月22日「ジャッキーと学ぼうSDGs」	11名	20.8%
9月22日「本能寺の変「SDGsバージョン」	12名	22.6%
海の豊かさを守ろう (エクスプロージョン)		
9月23日「学生・若者が考えるまちのみらいについて」	12名	22.6%
9月23日「地球のしあわせ、私たちのしあわせ ~私の行動が未来の笑顔をつくる~」 (はるな愛)	17名	32.1%
9月23日「不用品がお金に変わる?リデュースリユースリサイクル」 (メルカリ女王 宇田川真実)	13名	24.5%
9月23日「フォレツピと花植体験」	2名	3.8%
9月28日「定禅寺通りで考えるカーボンニュートラル」	16名	30.2%
9月28日クロージングフォーラム	15名	28.3%
「子どもの明るい未来に向けた国際交流事業の成果発表展示」	14名	26.4%
スマイルツリー	29名	54.7%
メッセージリレー	24名	45.3%
来場者へのアンケートインタビュー (1組以上)	9名	17%
ブース出展	7名	13.2%
その他	5名	9.4%
参加していない	10名	18.9%

<検証>

ファンクションプログラムでは「地球のしあわせ、私たちのしあわせ ~私の行動が未来の笑顔をつくる~」への参加が32.1%と最も多く、一般アンケートの回答と同じくゲストを呼んだ効果が見られる結果で、「スマイルツリー」や「メッセージリレー」も40%を超える参加率となりました。最も少なかった「フォレツピと花植体験」は3.8%の参加となり、比較的小児に向けた内容となっていましたので、参加率が低かったと考えます。

全体を通じた検証結果（仙台JCメンバーアンケート）

【設問2】参加して学びになった、もしくは今後も企画すべきと思うプログラムを教えてください（複数回答可）



9月22日「オープニングセレモニー」	6名	12.8%
9月22日「ジャッキーと学ぼうSDGs」	6名	12.8%
9月22日「本能寺の変「SDGsバージョン」	5名	10.6%
海の豊かさを守ろう（エクスプロージョン）		
9月23日「学生・若者が考えるまちのみらいについて」	13名	27.7%
9月23日「地球のしあわせ、私たちのしあわせ ～私の行動が未来の笑顔をつくる～」	9名	19.1%
9月23日「不用品がお金に変わる？リデュースリユースリサイクル」	6名	12.8%
（メルカリ女王 宇田川真実）		
9月23日「フォレツピと花植体験」	3名	6.4%
9月28日「定禅寺通りで考えるカーボンニュートラル」	8名	17%
9月28日クロージングフォーラム	8名	17%
「子どもの明るい未来に向けた国際交流事業の成果発表展示」	5名	10.6%
スマイルツリー	10名	21.3%
メッセージリレー	6名	12.8%
来場者へのアンケートインタビュー（1組以上）	3名	6.4%
ブース出展	7名	14.9%
その他	3名	6.4%
参加していない	10名	21.3%

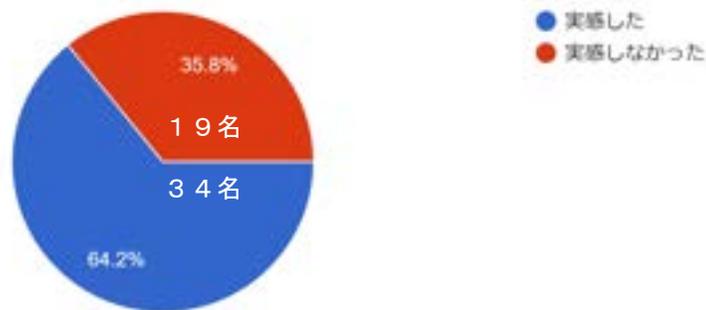
<検証>

特に際立った参加率のものはなく、全体的に10～20%という結果となりました。プログラムに参加していただいた皆様の約80%が参加して学びになった、もしくは今後も企画すべきとの回答であり、どのプログラムもメンバーに対して適切であったと考えます。

全体を通じた検証結果（仙台JCメンバーアンケート）

【設問3】SDGs Week全体を通して、SDGsが推進されていく実感はありましたか。

53件の回答



<検証>

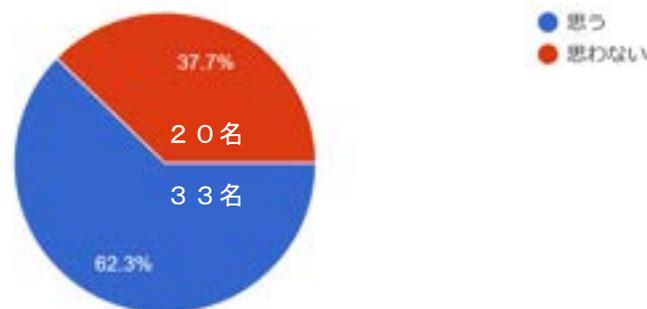
「実感した」の回答が64.2%であり、通りがかった人が「SDGsだって」と会話していたのを耳にした、スマイルツリーやメッセージリレーなどの一般市民への働きかけは良いと思ったとの理由がありました。また、「実感しなかった」という回答は35.8%と厳しい評価となりましたが、理由としては「来場客が少ないという実感があつた」、「SDGs Weekを通してどのように市民に対してSDGsを訴えられているのか疑問に感じた」という回答があり、広報の観点からの問題やイベントの内容含め、来年の開催に向けての課題が浮き彫りとなる結果となりました。

来場客がやはり少ないなという実感があつた。
スマイルツリーやメッセージリレーなどの一般市民への働きかけは良いと思ったため。また、はるな愛氏の講演内容はSDGsの内容（こちらの意図を汲んだもの）で良かったと思ったため。
みなさん意識が高かつた
ステージなどは実感した
SDGsは時代遅れな印象がある。
SDGsが一般的なものになっており、今回のイベントで参加したプログラムからは推進されたかというところは感じなかつた。
多くの団体と連携することで、よりSDGsが推進されていくと思います。
天候の問題もあると思いますが全体的に来場客数が少なかつた点や定禅寺ビルで行っていたプログラムにも関心がある人たちがいるように見えなかつた。
学びがあつたから
通りがかった人が「SDGsだって」と会話していたのを耳にしまして、ファンクションに参加していただけても定禅寺通り等人が行き来する場所でSDGsを発信することはとても有意義なコトだと感じました。
スマイルツリーはSDGsについて考えるきっかけになっているとおもいました。
多くのファンクションにしっかり出席できたからです。やはり出席して更にちゃんと参加しないと得られない学びがあると思います。そういったメンバーや市民をどれだけ集められるかが課題だと思います。
SDGsの内容を少しずつ理解出来てきたから
SDGsという言葉は何年か前に出てきているがあまり意識して生活していないと思う。少しずつ目に触れることをしていけば少しずつ進んでいくと思う。
SDGsウィークを通してどのように市民に対してSDGsを訴えられているのか疑問に感じた
温暖化対策 CO2削減は世界の共通課題なので
設問内容的に市民に浸透とか啓発とかという意味だと思いますが、そこまでの効果ではなかつたように思います。また、仙台JCが目指すSDGsの姿がいまいち想像できないので回答が困難です。

全体を通じた検証結果（仙台JCメンバーアンケート）

【設問4】SDGs Weekでは多くの団体や市民が連携し取り組めたと思いますか。

53件の回答



選択した回答の理由を教えてください。

達成目標に達した否かは定かではありませんが、それでも多くの団体を巻き込めたと思う
連携し取り組んでいたのがブースにも集まったイメージ
メッセージリレーに色んな人が協力してくれた
学生団体に登壇してもらったのは良い試みだったと思う。
ブース出展やファンクション、スマイルツリーなどで連携ができたと思います。
連携出来ていればもっと来客数があったと思いました。
各団体と連携できていたと感じる
毎年の事業になっているが、市民への広告が足りないと思う
マルシェや立ち飲み等の出店ブースの方から「儲からなかった」というような主旨の声が多数上がっていたとお伺いし、SDGsよりも商売優先で出店されていたと推測されるため。
結果として色々な諸団体が関わったと思う
スマイルツリーを主に担当しましたが、参加者より「何を書けばいいの?」というお話をいただき、本来そういう方を教化すべきではありますが、時間の都合などもあり「こんな風を書いてください」と、誘導尋問のようにしてしまい反省すべきだと考えています。しかしながら、自発的に記入をしてくださった方もいたので、すべてがすべてというわけではないです。

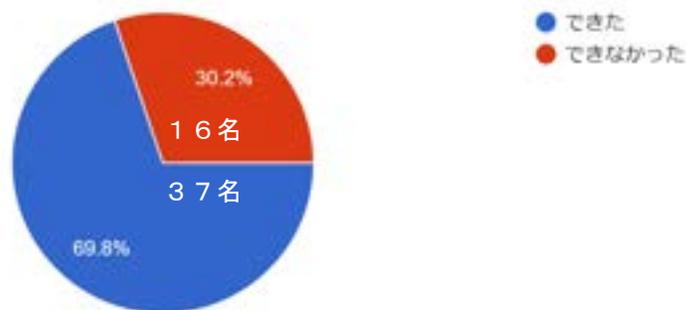
<検証>

「思う」という回答が62.3%、「思わない」という回答が37.7%と約4割の方が「多くの団体や市民が連携し取り組めていないと感じており、「ブース出展やファンクション、スマイルツリーなどで連携ができていた」という観点や「連携出来ていればもっと来客数があった」という連携をしたパワーをしっかりと発揮できていなかったと考えました。連携をして具体的にどんな効果を出すのかをもっと明確にし、目標を掲げ、達成できるように取り組むべきでした。

全体を通じた検証結果（仙台JCメンバーアンケート）

【設問5】仙台JCとして運動を構築するにあたり、市民が一体となって取り組むことの重要性を理解できましたか。

53件の回答



選択した回答の理由を教えてください。

仙台JCだけでできることには限界があることも一方で感じたため。
一体となってみんな参加してました
そもそもJC以外の参加者が少ないと感じたので、一体感はなかなか難しいと感じた。
市民が一体になってもらわないと進めることの出来ない内容なので。
結局は、市民の意識変革と行動変容が重要だと思います。
市民と一体となって取り組んでいけばもっと賑わっていたのかと思いました。
天候もあり、市民が多く参加できたようには残念ながら感じられなかった
JCの運動は市民をより多く巻き込むことでより大きな運動になると感じました。
市民を巻き込めないとただの自己満足でおわってしまうと思うため。
市民がいなければ成り立たない事業だと思います。
市民を巻き込めてないが必要性は感じる
イベントはすばらしかったが、まだまだ市民のSDGsに対する意識は薄いように感じたのでこれからも市民に対してSDGsの発信ができたらと感じた
手法として市民一体となって取り組むというのであれば青葉まつり等で理解を得ていますが、今回のSDGsWeekの目的が市民と一体となって取り組むことだというのであれば理解できたとは言いかねます。
行政や企業などにも意見を聞きながら進めた事業構築が本来の姿であると思います。

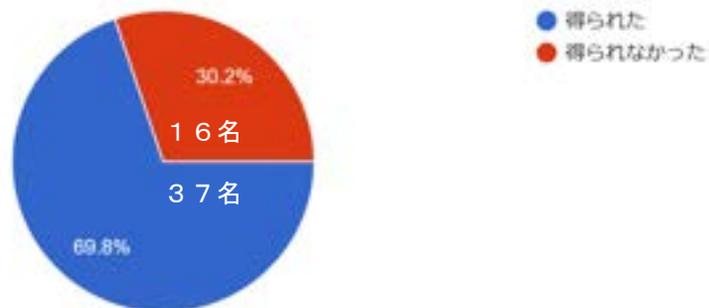
<検証>

69.8%のメンバーが「できた」と回答しており、【設問3】と【設問4】の回答よりは半数を大きく上回る結果となりました。しかし、「できなかった」の回答の理由として「市民と一体となって取り組んでいけばもっと賑わっていた」、「市民がいなければ成り立たない事業だと思った」という回答もいただいております。さらに市民の立場になって考えていくことが重要であると再認識するきっかけとなりました。

全体を通じた検証結果（仙台JCメンバーアンケート）

【設問6】SDGsの推進について、身近なところから行動するヒントは得られましたか。

53件の回答



<検証>

「得られた」の回答が69.8%となり、リサイクルにあたる「メルカリ」の活用については複数の回答がありました。また、一般アンケートでも挙がっていた「ゴミの分別」は身近でやりやすい内容という事もあり、こちらの内容の回答も多く見受けられました。また「得られなかった」の回答をしている方は「身近な行動ヒントがどの程度を示すのかわからないが、自分で明日からスタートしたいというヒントはあまり感じられなかった」という回答もあり、もっと提供できる内容を精査する必要があると感じました。

選択した回答の理由を教えてください。

リサイクル
具体的なアクションというより、無理をしない、背伸びをしないことでもSDGsに繋がるんだよという周囲への啓発はできると思う。下手に活動量を多くすればするほどそれがSDGsに反する（移動が発生する、資源を消費する等）ことにも繋がりがねないとも思うため。
講話を聞いて同じ活動して行く予定でした
災害ボランティア、子ども食堂。
不要品についての再利用、譲渡について実践しようと思いました。
メルカリの話のように捨てるモノを販売し、資源を無駄にしないことを実践していきたいと思います。
メルカリの活用
節電。
備えない防災。
ゴミの分別をがんばります！
フードロス無くす マイボトルを用意する
アンケートを通して、どのような取り組みをしてるのか勉強になりました
簡単にできることが沢山あるから。
ゴミを減らしたい

選択した回答の理由を教えてください。

非常に難しい設問です。そもそもどこからどこまでがSDGsなのかわからないので得られたとは言えない、もしくは行動することがSDGsであるならいつでもヒントを得ているという、矛盾した回答になります。
次回からは参加し得られるようにしたいと思います。
身近な行動ヒントがどの程度を示すのかわからないが、自分で明日からスタートしたいというヒントはあまり感じられなかった。

事業実施写真



事業実施写真



事業実施写真

